

ガーナでそろばんプロジェクト40号(2015年3月28日)

★★ 仲良し3人組が、そろばん教室でもまた見られるようになりました★★

アフィエ村
そろばん教室

報告 TOSHIKO

日本は春ですね。3月は卒業式、4月は入学式が行われる季節。私がガーナで経験してきた中で、この卒業式、入学式というのが、村の小中学校にはありません。アワデイと呼ばれる学期最終日や、中学3年生の生徒会長が離任し次の生徒会長に引き継がれるリーダー交代式は盛大に行われるのだけれど、卒業式、入学式が無いのを寂しく感じます。ガーナの新学期年度スタートは9月。高校受験は現在のところ6月に行われています。3年くらい前の高校受験は4月でした。政権が変わって6月になったと記憶しています。アフィエ村のデバインアカデミースクール中学生の高校進学率は八十五パーセントです。アフィエ村には高校が無いので、高校に進学する生徒は寄宿舎に入ります。現在、中学3年生で、そろばん教室に来ている生徒は、ブラザー、ギルバード、ホープの3人です。ブラザーは、3月最初の開室日に、珠算4級の検定、暗算5級の検定に合格して、現在、珠算3級、暗算4級の練習に入りました。ギルバードは、珠算6級、暗算7級です。ホープは、しばらくそろばん教室から足が遠のいていました。ブラザーが検定に合格した翌週の教室開室日からまた通い始めました。その前に来たのが、去年の9月20日。半年ぶりの登室でした。ご褒美のマイそろばんを手にしたのにも関わらず、それからまた3か月くらい足が遠のき、また通い始めて7級の練習を頑張っているなあと思っていたら、また足が遠のき、ブラザーとギルバードが説得ではないけれど、ゆるくゆるく教室に通うようになったのか？また通い始めてくれたのです。今回、この通信でお伝えしたことは、高校受験が終わると中学生生活が自然と終わる中学3

年生に、高校生になっても続けてもらうにはどうすればいいのさ？本人の意志で、まだまだ続けたいと思ってもらうのにはどうすればいいのさという課題です。これまでもこの“ガーナでそろばんプロジェクト”で子どもがやむを得ずそろばん教室を辞めていく理由や子どもたちの生活環境をお伝えしていますが、悩みや課題は解決されぬまま“辞めちゃった……”となってしまうのです。ブラザーとギルバードには以前“高校に行って寄宿舎に入っても、スクールホリデーで村に帰ってきた時は教室に来てね”と話しました。高校生になっても続けられるモチベーションも考えています。ご褒美のテキストブックに高価ではあるけれど、高校のテキストブックを導入しようと思っています。頑張ってきている子どもたちが、これからもまだまだ大変だけど教室に通いたいと思える環境作りをしていきたいと思っています。

